

# 営農だより 第6号

目標

- ①米ぬか入り肥料」の施用により、循環型農業の実践
- ②粒張が良く、食味値 80 点以上の良食味米

～適正葉齢と適正莖数で深水・中干しし、  
太く粒張りの良い稲作りをしましょう!!～  
千粒重を上げるには太い莖を作ることが重要です!!

太い莖が出来る

1本の親莖から発生する4本の子供の莖  
8.5葉期頃より子供の莖から発生する孫分げつは  
細莖で粒も小さい。くず米の原因にもなる為抑えたい!!



孫分げつを抑える方法として  
**深水 or 中干し**

気温の変化が激しい日が続いていますが体調はいかがですか？暑い日はこまめに水分補給をしましょう！本年5月の平均気温は平年より高く、降水量は少なく推移しました。現在のところ苗の活着も良く、順調に生育しているようです。

向こう1ヶ月の予報は平均気温が高くなることが予想されます。しかし梅雨に入ると雨や曇りの日が多くなります。昨年は6月7日が梅雨入りでした。今後の天気は変わりやすくなるので天気予報をこまめにチェックしましょう。

ここで大切なのが水管理です。田植え後好天に恵まれた為、分げつが進んでいるほ場が見受けられます。良食味米生産のポイントである太く揃いの良い分げつを確保する為に、葉齢 7.5（莖数 15 本/株）となったら葉耳の位置までの深水管理を開始するか、もしくは中干しを行って下さい(裏面参照)。深水・中干しが遅れると、莖数が過剰となり1本1本の莖が細く、無効分げつに肥料分をとられてしまい粒揃いが悪くなります。水管理のタイミングを見極めて太く揃いの良い分げつの確保に努めて下さい。

**適切な深水・中干し管理により、太く揃いの良い稲にしましょう!!**

【御殿場の気象】アメダスデータ御殿場

項目 期間	平均気温 (°C)			日照時間 (hr)			降水量 (mm)		
	本年	平年	差	本年	平年	%	本年	平年	%
4月 計	10.4	11.3	△0.9	201.6	157.7	127.8	292.5	247.5	118.2
5月前半 計	16.8	14.8	2.0	94.5	70.2	134.6	41.0	120.9	33.9
16～20日	16.2	15.7	0.5	6.4	22.8	28.1	104.0	45.1	230.6
21～25日	15.7	16.2	△0.5	23.4	23.9	97.9	1.0	42.5	2.4
26～31日	17.9	16.9	1.0	22.3	28.8	77.4	1.5	45.8	3.3
5月後半 計	16.6	16.3	0.3	52.1	75.5	69.0	106.5	133.4	79.8
5月 計	16.7	15.6	1.1	146.6	145.7	100.6	147.5	254.3	58.0

## 定点調査(植付)

株間平均 18.8 cm (324 本/m<sup>2</sup>目標) 6月4日(月)現在

場所	標高(m)	植付本数(本)	茎数(本)	目標茎※	草丈(cm)	葉齢	田植え日
神山(町屋)	300	2.8	9.3	54%	30.9	7.3	5月13日
吉久保	370	3.8	13.9	69%	29.7	6.8	5月3日
大堰	400	3.9	8.3	39%	28.9	6.9	5月9日
用沢	480	2.8	7.8	44%	32.6	7.1	5月9日
仁杉 (カトリ-周辺)	500	2.5	5.8	31%	24.7	6.8	5月6日
中畑	550	3.5	12.2	76%	30.8	7.4	5月2日
印野	600	3.0	12.6	81%	30.0	7.5	5月5日
平均		3.2	10.0	56% 180本	29.7	7.1	

※(茎数と株間から算出したm<sup>2</sup>当たりの目標茎数に対する進捗状況)

茎数・草丈・葉齢ともに例年通りに生育しています。  
(昨年は例年より 5 日程度生育が早かったです)。今後は水管理により、茎数を取りすぎないように気を付けましょう。

今からでも葉齢・茎数は数えられます。水管理の際に畦際の平均的な 1 株を数えてみましょう。棒を 1 本立てて、週 1 回同じ株を測定してみましょう!!

**目標茎数：太い茎で 324 本/m<sup>2</sup> (8 俵/10a)**

刈取り時期に 324 本の穂数が確保できるように茎数をコントロールしましょう!!



深水・中干しのタイミング  
**茎数 15 本!!**

### 太茎の基本的な考え方

1 本の親茎+4~5 本の子供分けつ



太くて良い粒が出来る  
それ以降の孫の分けつは茎も粒も  
細く、くず米の発生要因となる



葉が 2 枚以上なので数える

葉が 1 枚なので数えない

### 【くず米増加の原因】

茎数が増えると着粒数が増え、一粒一粒が小さくなり、これが**くず米**となってしまいます。昨年茎数が多くとれた場合は早めに深水・中干しを行い、茎数の発生を抑制しましょう。

(m<sup>2</sup>あたりの茎数計算方法)

株間 10 株の平均の長さ = 180cm = 0.18m

畝間 30 cm = 0.3m、茎数 15 本

$1 \div 0.18 \div 0.3 \times 15 = 277.8 \text{ 本/m}^2$

# 茎数のコントロール方法 葉齢 7.5~9.5 で太い茎を作りましょう!!

## 1、深水による水管理の場合

- ① 開始時期 7.5 葉期 (1 株茎数 15 本程度) で深水開始。
- ② 水の深さ 葉耳の位置まで。
- ③ 終了時期 9.5 葉期頃 (開始から 14 日ぐらい)
- ④ 中干し 深水終了後、軽い中干しをする(7日間程)
- ⑤ その後間断灌水。

深水開始の目安  
目標茎数の 80% で開始

6/8 (予測)	葉齢 7.0 (推定)
(管内 7 カ所調べ)	
平均で葉齢 7.0 (推定値) となっていると思われます。	
中には 15 本目の茎が出ている株もあるかと思いますので 深水の準備を行ってください。	

## 2、中干しによる水管理の場合

葉齢 7.5 葉期 (茎数 15 本程度) になったら中干しに入る。  
中干しを行って分けつを抑えます (株間 18cm の場合)。  
7.5 葉期に 15 本/株以下なら開始を遅らせ、15 本/株以上であれば直ちに行いましょう。  
その後間断灌水を行います。

[中干しの程度]

～ 亀裂が入る程の強い中干しは根を傷め登熟を悪くし、食味を落とすので注意!! ～

- ① 10 日程度の軽い中干しを行う。
- ② 秋の収穫作業に支障のない程度に中干しを行う。
- ③ 足跡がつく程度とする。

**生育が適正な圃場**  
**葉色の濃い圃場**

足跡が着く程度の軽い中干しを行う。  
穂肥直前まで中干しを実施し、葉色をさます。

☆茎数が足りない場合は、中干し開始の時期を遅らせ、浅水管理 (2~3cm) で茎数の確保に努める (7.5 葉期(6/10 頃)の茎数が 15 本以下の場合)。

### 注意!!

今後は気温が高くなることが予想されるため茎数・草丈が著しく増える(伸びる)ことが考えられます。ほ場をよく観察し、7.5 葉以上、もしくは茎数が確保できたら早急に深水・中干しを行いましょう。

6 月に入って雨量が少なく水不足が懸念されます。不必要な入水 (かけ流し等による) は控えましょう。

- 茎数を取り過ぎると充実した穂がつかない茎になり、穂がついても粒の定員オーバーで肥料の奪い合いが起こり、一粒一粒が登熟不良のためくず米が多くなってしまいます。
- 深水管理をすると苗の揃いが良くなります。
- 葉齢が7.5、もしくは茎数が15本になったら中干し・深水開始のタイミングですが、茎数が不足している場合は必要茎数を優先しましょう。
- 葉齢は約7日間で1枚程進みます。

## 『食味向上・倒伏軽減資材の施用』

食味向上・稲体の健全化、倒伏抵抗性を強くするため、次のいずれか1つを散布しましょう。

### ケイ酸カリプレミアム

30kg/10a **中干し2～3日前**  
**¥2,310(税込)/20kg**

水に溶けにくいいため、中干し前の散布をする。

倒れにくく病気に強い稲体を作り、登熟を高めて食味向上につながる。

カリは栄養の運びや。

### マルチサポート1号

30kg/10a **6月下旬頃**  
**¥1,650(税込)/20kg**

苦土が光合成を活性化することで、粒張りを良くしたり、食味向上が期待できる。またケイ酸を含むので葉や茎を丈夫にし、倒伏軽減、登熟向上を促す。

### ウォーターシリカ

15kg/10 **中干し後**  
**¥2,970(税込)/15kg**

登熟歩合・千粒重が向上し、品質・収量のアップが期待される。またケイ酸の吸収効率が最も良く倒伏を防止する効果がある。

## 『雑草防除』

クログワイ、オモダカ等が残っている場合、下記の中・後期剤を利用し、来年度以降の発生を減らしましょう。

### レプラス1キロ粒剤

6月中旬まで ¥3,710(税込)  
**(1kg/10a)**

ホタルイ(20cm)・オモダカ(矢尻3葉)・クログワイ(30cm)・ノビエ(4葉)等。落水せずに散布。散布後3日は溜め水を行う。

### クリンチャーバスME液剤

6月下旬まで ¥2,150(税込)  
 (1000ml/10a (100倍) 水100ℓ)  
 ノビエ・ホタルイ他多年生雑草。暑いと薬害が出るため、高温時を避けて茎葉に直接散布。散布後晴天が続く日に使用し、散布後3日間は入水しない。100L/10aをしっかりと施用する。

### アトトリ1キロ粒剤

6月下旬まで ¥2,840(税込)  
 (1kg/10a)

オモダカ・クログワイ等。湛水状態で使用可能。晴天時の午前中に散布。効果まで3週間程度かかる。継続して使用することで塊茎を減少させる。